

5月は、ゴールデンウィークがあり業務日数が少ない感じがしますが、21日と年間を通して割と多い方になります。21日×6時間/日=126時間。126時間×950円が1ヶ月の給料となります。地域手当と通勤手当が加算されますが、税金や保険料などが控除されて手取りとなります。体調不良で5日間ほど休まざるを得なかったスタッフもいました。しかし、出勤することができた時には、十分に業務を果たすことができていました。支援員としては何もできないのですが、最低賃金であることが申し訳なくなるくらいに頑張っている姿が印象的でした。

業務を行うために、いろいろな「道具」を使用します。ほうきやモップ、雑巾、カマなどはもちろんですが、電気を動力とする芝刈機や刈込バリカン、エンジンを動力とする芝刈機などを使用します。こうした道具にメンテナンスは欠かせません。洗濯はもちろんですが、モップのゴミをとったり、掃除機の紙パックを取り替えたりすることは、スタッフ二人と支援員の一人が一緒に行っています。しかし、エンジンなどのメンテナンスとなると支援員の力量不足がでてきます。スタッフの移動支援はもちろんですが、こうしたメンテナンスに関する力量を有する人が、共に業務にあたってくれると嬉しいと思います。

除草大作戦



特別支援学校の敷地にある土手の除草大作戦を実施しました。まずは児童生徒にとって大切なスクールバスの周辺を行いました。二人での作業ですが、分担しながら作業範囲を確認しながら行うことができました。作業後は、とてもきれいになりました。



窓拭き作戦



雨で外の作業ができないときには、窓拭きが中心作業となることが多いです。バルコニーがある場合には、外側の窓やバルコニーの掃除を行ったりします。内側の窓を拭くことはもちろんで、サッシの溝もブラシや掃除機を使って掃除をします。



道路沿い・・・



が、作業後はとても気持ちよくなります。

校地の周辺道路に面した場所は、なかなか手をいれるのが難しいです。交通量が多い場合、接触事故がないように、飛び出したり、ふらついたりしないように声かけをしたり、コーンや草袋を目立つように立てています。ドキドキしながらやります

